

人が動く、国土が躍動する。

**国土交通省**



# みなと しみず

**発行**

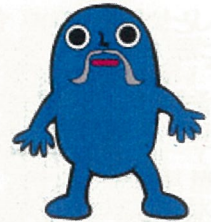
中部地方整備局

清水港湾工事事務所

清水港事務所  
御前崎港事務所  
下田港事務所



僕は駿河湾の海底で誕生しました。名前は「ベイズ」です。清水港湾工事事務所のイメージキャラクターとしてがんばります。今後ともよろしく!!



## 平成13年度 港湾整備事業費



第9次港湾整備七箇年計画の6年目にあたる平成13年度予算は下表の通り、清水港湾工事事務所の管轄する3港で総額78億7千万円となっています。各港別の動きについて、清水・御前崎港については平成15年供用開始に向けたターミナルの整備を図っていますが、国際海上コンテナターミナルを整備中の清水港では、新興津防波堤、岸壁(-15m)の整備の他、泊地浚渫を始めました。また、日の出岸壁の高質化舗装の施工も開始します。御前崎港では、多目的外貿ターミナルとなる岸壁(-14m)の整備を防波堤(西)と合わせて進めており、本年度も防波堤(西)は環境協調型ケーソンによる築造を行います。その他、航路泊

### 1. 平成13年度港湾整備費

港名	整備目的	地区	施設名	事業費	事業費 (12年度当初)		事業内容 (13年度)
					(12年度)	(13年度)	
清水港	港内の静穏度、船舶の安全航行	外港地区	防波堤(改良)	120,000	100,000		消波工
	"	新興津地区	防波堤	324,000	150,000		築造(基礎・本体・上部・消波工)
	国際海上コンテナターミナルの整備	"	岸壁(-15m)	2,830,000	3,100,000		築造(基礎・本体・上部・裏込工)
	"	"	泊地(-15m)	1,456,000	100,000		浚渫工
	淵いあるウォーターフロント空間の形成	日の出	岸壁(-12m)(改良)	150,000	150,000		高質化舗装工
	計			4,880,000	3,600,000		
御前崎港	港内の静穏度、船舶の安全航行	女岩地区	防波堤(東)	210,000	230,000		消波・上部工
	港内の静穏度、船舶の安全航行	"	防波堤(西)	500,000	750,000		築造(基礎・本体・上部・消波工)
	多目的外貿ターミナルの整備	"	岸壁(-14m)	960,000	900,000		築造(基礎・本体工)
	船舶の安全航行	"	航路泊地(-1.4m)	210,000	20,000		浚渫工
	計			1,880,000	1,900,000		
下田港	気象時に対する船舶の安全避難	下田地区	防波堤	1,110,000	1,110,000		築造(基礎・本体・上部・消波工)
	計			1,110,000	1,110,000		
合計				7,870,000	6,610,000		

### 2. 作業船整備費

項目	船種	事業費	事業費 (12年度当初)	備考
修理	監督測量船	14,051	13,780	まさき(清水港)、ふじ(御前崎港)、しもだ(下田港)

1 地の浚渫も本格化します。また、避難港として整備を進めている下田港においては、防波堤東側(B区)の1 函分のケーソンの製作・据付を行います。

新任のご挨拶

所長 小野 文雄



4月1日付で所長を拝命しました小野です。管内育ちで、当事務所には二度目ですが、清水市での生活は初めてです。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、新世紀の幕開けと共に国土交通省が発足し当事務所も静岡県内の八つの直轄事務所の一員となりました。

この節目である今年には当事務所に於いては開設八十周年に当たります。奇しくも庁舎も新築され、この四月から全面オープンしています。これにより庁舎が東海地震にも耐えられることになり、拠点として一安心となりました。この十月には80周年記念行事を計画しています。現在は、公共事業にとつて非常に厳しい情勢ではありますが、直轄事務所の存在の必要性、意義を改めて認識する機会でもあると思います。今後は他事業との連携等も図り、長期的な視野でそれぞれの「みなと」にとつて良いものを安く早く造るため努力

したいと思っております。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

日の出高質化舗装委員会  
の進捗について

清水港に来港するQEII、クリスタルシンフォニー、飛鳥、日本丸などが接岸するのは多くの人で賑わう日の出岸壁ですが、舗装面にひび割れなどの老朽化が目立ってきました。

このため平成13年度より岸壁の改良を当事務所において実施することになりました。また、日の出岸壁は港湾計画においても交流拠点ゾーンとして位置付けられていることから、富士山の眺望を考慮した景観に配慮したデザインを取り入れることになりました。

デザインの決定にあたっては、平成12年度に「清水港日の出岸壁高質化検討委員会」を立ち上げ、地元有識者や学識経験者の方々に意見を伺いました。さらに、平成13年度には、委員会の結果をもとに実施に向けた検討会を立ち上げ、先日デザインが決定しました。

舗装は自然石を使う計画であり、来年4月に予定されているクリスタルシンフォニーの来航時には一部ですが生まれ変わった日の出岸壁を見ていただけると思います。

新興津岸壁ケーソン  
据付工事

清水港のコンテナ貨物取扱量は年々増え続け、平成12年には376千TEUとなっております。これに対して現在の清水コンテナターミナルは、旧来の「櫛形ふ頭」でありコンテナを取り扱うためのふ頭用地が不足しています。また岸壁水深も不足していることから、大型化が進むコンテナ船に十分対応ができない状況となっております。このため十分なコンテナヤードを有する15mの水深コンテナターミナル「新興津国際海上コンテナターミナル」の整備を急ピッチで進めています。

7月11、14日に「新興津国際海上コンテナターミナル」の岸壁本体部であるケーソン4函(全15函の内9、12函目)の回航据付を行いました。このケーソンは、長さ27.2m、幅13.0m(底面幅23.3m)、高さ18.5m(6階建ての建物に相当)、ケーソン重量約600トンであり、鋼板とコンクリートを一体化した強度特性の高いハイブリッドケーソンです。ケーソン回航据付は、清水港の湾奥部に位置するケーソン製作ヤード(NKK清水製作所内)から大型起重機船によりケーソンを吊り上げ、そのまま現地まで回航し据付を行います。今回のケーソン据付の4日間は、梅雨明けの猛暑の中

で行われましたが無事に据付けることができ、その後、中詰材の投入、蓋コンクリートの打設を行い、8月上旬までに完了しました。今後は、ケーソン製作ヤードにて残りの3函(13、15函目)をこの11月中旬までに製作し、11月下旬には岸壁本体部のケーソン全15函(延長約410m)が並ぶこととなります。



ケーソン吊り上げ状況

事務所新庁舎が完成

平成12年3月から建替工事を行ってきました事務所新庁舎が完成し、地元関係者のみなさまにもご出席いただき、今年3月29日に竣工式典を行い、事務所80年の歴史の中で3代目の庁



舎となりました。新しい庁舎は、予想される東海地震が発生した場合においても、防災関係機関としての役割が的確に果たせるよう耐震性を強化しました。また、市民のみなさんに気軽に立ち寄っていただけるよう、緑化やガス空調設備など、環境に配慮しつつ、みなとや海への関心や理解を深めていただけるよう、「ベイズホール」と名付けた展示スペースを1階に設けました。なお、これに先立ち、35年間の歴史を刻んだ2代目庁舎はすべて取り壊しましたが、三角池は残してありますので、昔を思い出していただくことも少しはできると思います。

### 女性ネットワーク フォーラム開催

平成13年4月21日「みなと」と市民生活が縁遠くなってきたと感じる人々が増えてきている状況のなかで、地域や暮らしに結びつく「みなとづくり」を応援し、よりよい「みなと」にしていく方法を話し合うため北は北海道から南は九州・沖縄の各地域で活躍する女性がこの静岡県清水市に集まりました。

午前中に第1回フォーラムが開催され、参加者が「みなと」の色彩計画が進んでいる清水港を海上から視察し、その後各地域の「みなと」や街について簡単に紹介しました。

フォーラムでは、各地域で活躍している女性達が集まり、勉強しあい、情報交換、意見交換を行い「みなとづくり」に参加し応援するため、「暮らしを海と世界に結ぶみなとづくり」女性ネットワークが設立されました。

午後からはしずおか「21世紀のみなとづくり」シンポジウムが開催され、港湾局高松開発課長の基調講演に引き続き、パネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、清水市民をはじめ大勢の聴講者に、各地の「みなと」や街の状況、昔の日本の港湾や海岸について、また、外国の港湾や海岸

について各自の思いが語られました。そして清水港では「みなと色彩計画」が民間主導で行われ港が美しくなっていること、各地域でも港を美しくすることや人々が港に親しむための様々な活動が行われていることが紹介されました。聴講者からは女性から見て今の港に必要なものについて質問がだされ、パネラーは、港湾の仕事にもつと女性を起用し、その能力を生かせる環境を整えること、港湾と住民のコミュニケーションをはかること、港湾で行われている様々なことをより積極的にPRすることや、憩える空間を整備すること等を挙げました。

最後に、女性ネットワークの活動方針と次回のフォーラムを今年の夏から秋頃に伏木富山港において開催することを確認して閉会しました。



### 三宅島 避難船

8月に入り夏休み本番に突入り、観光地伊豆は海、山ともにトップシーズンを迎えて多くの観光客で賑わいを見せています。そんな中、下田市には故郷への思いを胸にまなまらぬ避難生活を余儀なくされている方々が15世帯23名居られます。

平成12年9月1日東京都伊豆諸島三宅島全島避難指示から間もなく1年が過ぎようとしてますが火山ガスの放出は止まることなく、島民が島に戻って暮らせるめどは立ちません。

下田港には現在14隻の漁船が避難係留しており、うち6隻

### 海の日記念式典

第6回「海の日」を祝う式典が、清水地区で7月23日に、下田地区で7月24日に開催されました。

清水会場では、港湾建設功労者として次の方々に対し、中部地方整備局長の表彰状と記念品が小野所長から伝達されました。

(優秀工事)

- ・国土総合建設(株)名古屋支店 (御前崎海岸壁)
- (14m) 本体工事)
- ・安藤建設(株)静岡支店
- (清水港庁舎新築工事)
- (安全工事)

鹿島建設(株)名古屋支店

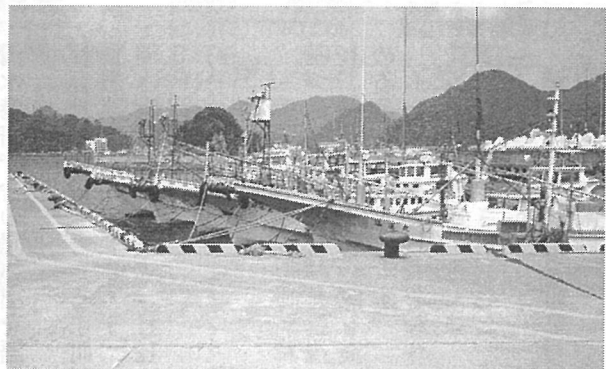
が福浦にある外防波堤作業基地岸壁に係留して下田港、三宅島近海において操業されています。当施設はブロック製作等のため当事務所が所有しているものであり、公共の用に供されている施設ではありませんが、下田市及び漁協からの要請を受け、人道的緊急避難措置として防波堤工事に支障が出ない範囲で受け入れているものです。

受入期間については現行規定の運用上、避難解除の日まで、もしくは平成14年3月31日までとされていますが、火山活動終息に至るまでの期間が予測出来ないことから、期限経過後の措置を関係機関と調整していくことが今後必要かと思われます。

〔新興津岸壁(15m) 本体工事(その4)〕



島民の皆様が三宅島に戻れる日が一日でも早く来ることを心から祈るばかりです。



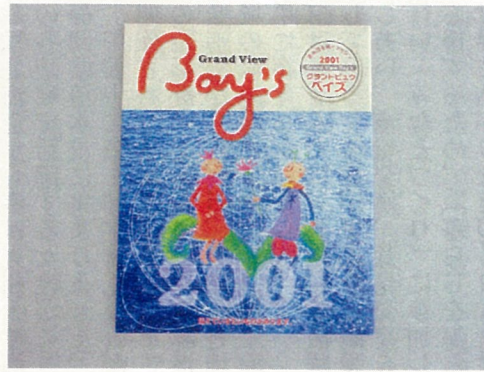
### 「グランドビュー ベイズ」発行!

この度、清水港湾工事事務所はベイズシリーズの最新作「グランドビューベイズ」を発刊しました。

ベイズシリーズは、清水港とその周辺地域の歴史や文化について、広く知っていただくことを目的とした内容の小冊子です。今回発行の「グランドビューベイズ」はシリーズの7作目となるもので、工業と共に発展してきた清水港が美しく変化を遂

「ベイズ」は当事務所で無料で配布しております。

「ベイズ」は当事務所で無料で配布しております。



## 田子の浦港 港湾計画改訂

旧運輸省の港湾審議会を改組した「交通政策審議会港湾分科会」が平成13年7月9日に開催され、分科会長に須田熙八戸工

大教授が選任されました。田子の浦港、衣浦港、博多港、徳島小松島港の港湾計画改訂等について審議が行われ、原案の通り承認されました。田子の浦港の主な計画の概要は以下の通りです。

- ・「産業活動を支える物流機能の高度化」と「市民生活向上への寄与」を目標に掲げ、平成20年代前半を目標年次とする。目標年次における取扱貨物量は、外貨260万トン、内貨560トン、合計820万トン。
- ・中央地区に、米穀類、チップ等を取り扱う水深12メートル岸壁を既定計画通り位置付ける。
- ・鈴川地区に水深7メートルドルフィンを計画するとともに、老朽化した危険物取扱施設の再編等のため、水深5メートル岸壁3バースを計画する。
- ・大規模地震災害時の住民の避難、緊急物資輸送及び産業活動維持に供するため、中央地区に水深12メートル岸壁1バース、富士地区に水深6メートル岸壁1バースの耐震強化岸壁を計画する。

## 事務所80周年 記念事業について

清水港湾工事事務所は大正10年(1921年)に内務省横浜土木出張所清水港修築事務所として

開所して以来、今年で80周年を迎えました。80年という節目の年を記念して当事務所では記念講演会を開催することを計画しています。東海大学短期大学の東恵子先生、評論家の竹村健一先生のお二方をお迎えし講演をしていただくことを考えております。

記念講演会の日程は次のとおりとなっております。

日程 平成13年10月26日(金)

- ・市民参加による「みなとづくり」
- ・東恵子先生の講演 14時30分～15時30分

「これからの日本」

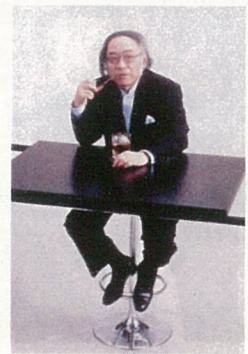
- ・竹村健一先生の講演 15時30分～16時30分

場所 清水テルサ (JR清水駅東口徒歩1分) なお、詳細につきましては別途ご案内をします。

東恵子先生



竹村健一先生



## 出来事

「みなとしみず」は平成11年9月6日の第46号以来、約2年振りの発行となりました。この間(12年度末まで)の主な出来事について、時系列的にとりまとめました。

- ・旧日本海軍潜水艇「海竜」発見(H11・9・2 下田港)
- ・清水港ポートフォーラム(H11・9・8)
- ・新興津公有水面埋立申請静岡県知事承認(H11・9・27)
- ・伊豆地域の港を考える市町村長懇談会(H11・10・12)
- ・清水港開港百周年記念「港づくりシンポジウム」(H11・10・17)
- ・清水港新興津コンテナターミナル着工式典(H11・10・29)
- ・静岡地域市町村長懇談会(H11・11・25)
- ・下田港防波堤東着工式(H11・12・20)

## 編集後記

「広報広聴業務計画」に基づき国民との対話を重視し、透明性の高い行政を進めることとしています。インターネットホームページも近々開設いたします。ご期待下さい。

〒424-0922  
清水市日の出町7番2号  
中部地方整備局  
清水港湾工事事務所  
☎0543(52)4146

- ・清水港新庁舎起工式(H12・3・27)
- ・清水・御前崎・下田テレビ電話開通(H12・4・14)
- ・清水港新興津岸壁(14m)ケールソン回航・据付式典(H12・7・19)
- ・第15回「海の祭典」しずおか(H12・7・20) 静岡
- ・防災訓練(H12・10・2)
- ・清水市立興津小学校に出前講座(H12・11・1)
- ・下田港東防波堤ケールソン据付安全祈願祭(H12・11・27)
- ・国土交通省中部地方整備局発足(H13・1・6)
- ・清水港旧庁舎の思い出を語る会(H13・1・12)
- ・伊豆地域の港を考える市町村長懇談会(H13・2・9)
- ・清水港新庁舎竣工式(H12・3・27)